

Tさんの事例

2020年7月29日

わかもの就労ネットワークでは、地域若者サポートステーションなどの支援団体に訪れる若者が、緩やかに会社とつながる仕組みづくりに取り組んできました。今日はその中で出会ったTさんの話を紹介したいと思います。

現在、ファイブエーカンパニーで働くTさんは、おさしのサポステのプログラムに参加した後、とにかく仕事の現場を経験したいと考え、印刷業の現場(杉並区)での職場実習に臨み、はじめて収入を得ることができました。

実習中の会話の中で、実は“ものづくり”がやってみたいとの想いを話してくれたことがきっかけになり、社長自らが伝手を辿って金属加工の現場(日野市)を紹介。そこで働くことになりました。

そして1年弱ほど実習したところで、仕事内容が高度であったことから進路変更を決め、より仕事の内容がはっきりしている現在の清掃の現場(杉並区)に着地しつつあります。

つい先日、Tさんは「(仕事は)楽しいです。もう2年になります」と清々しく語ってくれました。

「サポステと会社が連携しながら若者の模索を支え続ける」～私たちはそのような社会の実現を目指したいと考えています。